



憲法記念日の5月3日、「2023憲法大集会」が開催され、JR 総連としては171名、JR東労組は80名を超える仲間が結集しました。また、9条連の仲間たちも参加しました。集会全体では25,000名の参加者が有明防災公園に結集しました。

「台湾有事」やウクライナでの戦争を口実に防衛費が増額され、敵基地攻撃能力の保有や武器の輸出が検討されるなど、日本は「あらたな戦前」の状態にあると言われています。集会では、こうした情勢とともに女性や外国人に対する不当な攻撃など、社会の不寛容さが強まっていることに対する当事者からの切実な危機感が伝えられました。軍事大国化で周辺国を威圧するのではなく、対話や外交努力で平和をつくること、防衛費の増額よりも生活に困窮している人々への支援を優先し、差別を許さず生存権を守ることが訴えられました。

戦争状態になれば、鉄道は軍事輸送などを担うこととなり標的にもなることは、現在のウクライナでの戦闘でも明らかです。私たち自身の命と生活を守るためにも、戦争には絶対に反対し、子どもたちのために明るい未来を作っていきましょう！

